

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

アレルギー性肺疾患に対する気管支鏡検査の喘息発作リスクについての検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2020年1月1日から2022年12月31日に昭和大学病院でアレルギー性肺疾患である好酸球性肺炎、アレルギー性気管支肺真菌症、好酸球性多発肺血管炎肉芽腫症で気管支鏡検査を受けた患者さんで診断時の年齢が18歳以上の患者さん。

2. 研究目的・方法

気管支鏡検査の合併症としての喘息発作があります。一般的な患者さんでの発生頻度として0.02-0.09%との報告がある一方、気管支喘息の患者さんでは2%程度で喘息発作を生じたとの報告があります。アレルギー性肺疾患である好酸球性肺炎、アレルギー性気管支肺真菌症、好酸球性多発肺血管炎肉芽腫症は、診断に気管支鏡検査が行われ、喘息発作を誘発し得ますが、その頻度、治療については十分に議論されておりません。本研究の目的は、これらのアレルギー性肺疾患を対象とした気管支鏡検査において、喘息発作の発生リスク、重症度などの実態について明らかにすることです。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2024年7月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

昭和大学病院で気管支鏡検査を受けた患者さんの背景(性別、年齢、診断名、既往、併存症、気管支喘息の既往、前治療内容)、画像検査(胸部エックス線、CT)、生理検査(心電図、スパイロメトリー)、血液・生化学検査、気管支鏡検査での発作の有無、治療内容、生検結果、細胞診の結果、気管支肺胞洗浄(回収率、分画)、気管支鏡検査時間、合併症の有無、合併症の内容を用います。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6 . 研究組織

昭和大学病院呼吸器アレルギー内科 単施設での研究組織となります。

研究責任者：昭和大学医学部内科学講座呼吸器アレルギー内科学部門 氏名：楠本壮二郎

7 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部内科学講座呼吸器アレルギー内科学部門 氏名：楠本壮二郎

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8532